



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月9日

上場会社名 大王製紙株式会社

上場取引所 東

コード番号 3880 URL <https://www.daiyo-paper.co.jp>

代表者（役職名）代表取締役社長 社長執行役員（氏名）若林 頼房

問合せ先責任者（役職名）経理部長

（氏名）張能 太子（TEL）03 - 6856 - 7513

四半期報告書提出予定日 2024年2月9日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	503,774	4.8	11,092	-	6,569	-	2,016	-
2023年3月期第3四半期	480,855	7.4	△17,927	-	△20,969	-	△24,041	-

（注）包括利益 2024年3月期第3四半期 17,486百万円（-%） 2023年3月期第3四半期 △1,391百万円（-%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	12.13	-
2023年3月期第3四半期	△144.83	-

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	947,129	258,859	26.1
2023年3月期	923,531	244,670	25.5

（参考）自己資本 2024年3月期第3四半期 246,745百万円 2023年3月期 235,121百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	7.00	-	9.00	16.00
2024年3月期	-	7.00	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	-	-	9.00	16.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	670,000	3.7	14,000	-	8,000	-	1,000	-	6.01

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社（社名）、除外 1社（社名）H&PCブラジルS.A.

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	169,012,926株	2023年3月期	169,012,926株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	2,647,022株	2023年3月期	2,817,471株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	166,299,981株	2023年3月期3Q	166,004,521株

当社は、株式交付信託を用いた株式報酬制度及び従業員持株会信託を用いた従業員持株会信託型ESOPを導入しており、当該信託が保有する当社株式を自己株式に含めて記載しています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期決算補足説明資料は、下記当社ウェブサイトに掲載を予定しています。

[https://www.daio-paper.co.jp/ir/ir\\_news/](https://www.daio-paper.co.jp/ir/ir_news/)

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	8
(セグメント情報) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、コロナ禍からの経済活動の正常化が進み雇用・所得環境が改善しているなかで、個人消費や設備投資が増加基調にあり、緩やかな回復が続きました。一方で、ウクライナ情勢の長期化や円安などによる原材料・エネルギー価格の高止まり、及び世界的な金融引き締めに伴う影響などへの懸念から、依然として景気の先行は不透明な状況です。

当連結会計年度は当社グループの第4次中期事業計画（2021年度から2023年度までの3カ年計画）の最終年度となり、連結業績は前連結会計年度から回復途上にありますが、当初の数値計画に対してはギャップが生じる見通しです。

これに対し、今後の成長基盤とするために紙・板紙事業から成長が期待できるホーム&パーソナルケア事業への構造転換を強力に推進しています。加えて、営業面では紙・板紙事業、ホーム&パーソナルケア事業のほぼ全ての製品での改定後の販売価格の維持、生産面ではエネルギー構成や生産体制の最適化、及び省力化を含む聖域なきコストダウンを着実に進めています。

当第3四半期連結累計期間の連結業績は、以下のとおりです。

売上高	503,774百万円	(前年同四半期比 4.8%増)
営業利益	11,092百万円	(前年同四半期は営業損失△17,927百万円)
経常利益	6,569百万円	(前年同四半期は経常損失△20,969百万円)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,016百万円	(前年同四半期は親会社株主に帰属する 四半期純損失△24,041百万円)

セグメントの状況は、次のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後の報告セグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

## ① 紙・板紙

売上高	265,245百万円	(前年同四半期比 6.8%増)
セグメント利益	12,377百万円	(前年同四半期はセグメント損失△10,680百万円)

紙・板紙事業においては、新聞用紙は、発行部数及び頁数の減少により販売数量は前年同期から減少しましたが、価格改定の浸透によって販売金額は前年同期を上回りました。

洋紙事業（新聞用紙を除く）は、更なるグラフィック用紙の需要減少によってチラシやパンフレット用途の洋紙を中心に販売数量は前年同期から減少しましたが、価格改定の浸透によって販売金額は前年同期を上回りました。

板紙・段ボールは、主要用途である食料品や日用品の値上げによって国内需要が低迷し、輸出についても中国をはじめとする国際市場の停滞の影響を受けたことで販売数量は前年同期から減少しましたが、国内での価格改定の浸透によって販売金額は前年同期を上回りました。

これらの結果、紙・板紙事業では、売上高及びセグメント利益は前年同期を上回りました。

## ② ホーム&amp;パーソナルケア

売上高	220,291百万円	(前年同四半期比 4.3%増)
セグメント損失(△)	△3,338百万円	(前年同四半期はセグメント損失△9,353百万円)

ホーム&パーソナルケア事業において国内事業では、衛生用紙は、ソフトパケットティッシュや長尺トイレット等の付加価値品の販売を進めるとともに、原燃料価格や物流経費等の高騰が続く厳しい事業環境のなかで、生活者の理解を得ながらトップメーカーとして価格改定の浸透を推進しました。紙加工品は、生活者の要望を反映した新商品、著名人やアウトドアブランドとのコラボレーション商品及び人気キャラクターを採用したデザイン企画品を連続して市場に投入し、好評を得ました。また、2023年9月に立ち上げた新ブランド「エリエール Pet キミおmoi」によって、ペットケア市場に本格参入しました。この結果、国内事業全体としては、新型コロナウイルスの5類感染症移行に伴う除菌関連商品やマスクの需要減少等、市場環境の変化により販売数量が減少した商品カテゴリーがあったものの、価格改定の浸透によって販売金額は前年同期を上回りました。

一方、海外事業では、中国は、同国経済低迷や出生人口の減少、及びALPS処理水に伴う買い控えの影響を受けたことに加え、生活者の購買動向や市場形態の変化への対応が遅れた影響もあり、販売金額は前年同期を下回りました。これに対し、ブラジルでは、各商品の価格改定の浸透に加え、衛生用紙、ベビーケア、フェミニンケアにおける付加価値品の販売が伸長し、トルコでは、各商品の価格改定の浸透に加えて販売数量も増加したことでそれぞれの販売金額は前年同期を上回りましたが、海外事業全体の販売金額は前年同期を下回りました。

これらの結果、ホーム&パーソナルケア事業では、売上高は前年同期を上回りましたが、セグメント利益は、中国事業における収益悪化の影響が大きく、セグメント損失となりました。

③ その他

売上高 18,237百万円 (前年同四半期比 14.2%減)  
 セグメント利益 2,012百万円 (前年同四半期比 3.1%減)

主に売電事業、機械事業、木材事業及び物流事業であり、売電事業の外部向けの販売減少等により、売上高は前年同期を下回りました。

<主要品種別販売数量・金額増減要因>

紙・板紙セグメント

品種	数量	金額	動向
新聞用紙	-	+	新聞発行部数及び頁数の減少、価格改定の浸透
洋紙	-	+	印刷・情報用紙の需要減少、価格改定の浸透
板紙・段ボール	-	+	段ボール等の需要減少、価格改定の浸透

ホーム&パーソナルケアセグメント (国内)

品種	数量	金額	動向
衛生用紙	-	+	ソフトパケットティッシュ、長尺トイレット等の付加価値品の販売伸長、前年同期における価格改定前の需要増の反動、価格改定の浸透
ベビーケア	-	→	少子化に伴う需要減少
大人用ケア	+	+	高付加価値パッドの販売伸長、価格改定の浸透
フェミニンケア	-	+	価格改定に伴う販売減少、企画品の販売伸長、価格改定の浸透
ウェットティッシュ	-	-	トイレクリーナー新商品・詰替大容量の販売伸長、新型コロナウイルスの5類感染症移行に伴う除菌関連商品の需要減少
ペットケア	+	+	ペット市場に本格参入

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形、売掛金及び契約資産や棚卸資産の増加等により、前連結会計年度末に比べ23,597百万円増加し、947,129百万円となりました。

負債は長期借入金（1年内返済予定を含む）の増加等により、前連結会計年度末に比べ9,408百万円増加し、688,269百万円となりました。

純資産は為替換算調整勘定の増加等により、前連結会計年度末に比べ14,188百万円増加し、258,859百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.6ポイント上昇し、26.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年11月10日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	102,638	104,680
受取手形、売掛金及び契約資産	106,851	123,675
電子記録債権	10,753	13,662
棚卸資産	113,090	124,200
その他	22,003	14,356
貸倒引当金	△279	△160
流動資産合計	355,058	380,414
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	104,544	105,033
機械装置及び運搬具（純額）	202,639	206,247
土地	87,099	88,262
その他（純額）	37,823	34,282
有形固定資産合計	432,106	433,825
無形固定資産		
のれん	45,847	46,672
その他	38,619	37,223
無形固定資産合計	84,466	83,896
投資その他の資産	51,800	48,917
固定資産合計	568,373	566,639
繰延資産	99	75
資産合計	923,531	947,129

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	88,167	85,252
コマーシャル・ペーパー	20,000	15,000
短期借入金	13,659	14,339
1年内償還予定の社債	56	10,164
1年内返済予定の長期借入金	78,812	88,718
未払法人税等	1,472	4,551
引当金	5,852	3,027
その他	44,776	49,949
流動負債合計	252,797	271,002
固定負債		
社債	45,136	35,000
長期借入金	324,000	326,046
退職給付に係る負債	23,986	24,445
引当金	1,061	725
その他	31,879	31,049
固定負債合計	426,063	417,267
負債合計	678,860	688,269
純資産の部		
株主資本		
資本金	53,884	53,884
資本剰余金	55,112	55,112
利益剰余金	117,493	115,919
自己株式	△3,600	△3,283
株主資本合計	222,890	221,632
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,968	4,730
繰延ヘッジ損益	329	△116
為替換算調整勘定	6,907	19,714
退職給付に係る調整累計額	1,026	784
その他の包括利益累計額合計	12,231	25,112
非支配株主持分	9,549	12,113
純資産合計	244,670	258,859
負債純資産合計	923,531	947,129

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	480,855	503,774
売上原価	397,921	396,747
売上総利益	82,933	107,026
販売費及び一般管理費	100,861	95,934
営業利益又は営業損失(△)	△17,927	11,092
営業外収益		
受取利息	631	698
受取配当金	927	357
持分法による投資利益	133	86
為替差益	474	—
正味貨幣持高に関する利得	—	277
その他	1,769	2,374
営業外収益合計	3,937	3,794
営業外費用		
支払利息	4,140	4,911
デリバティブ評価損	139	1,616
正味貨幣持高に関する損失	1,129	—
その他	1,568	1,790
営業外費用合計	6,978	8,317
経常利益又は経常損失(△)	△20,969	6,569
特別利益		
固定資産売却益	57	37
投資有価証券売却益	1,445	3,105
受取保険金	703	911
その他	534	148
特別利益合計	2,741	4,202
特別損失		
固定資産除売却損	888	678
減損損失	6,407	1,346
災害による損失	2,103	545
早期退職費用	736	—
その他	198	251
特別損失合計	10,333	2,821
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△28,561	7,950
法人税、住民税及び事業税	1,603	4,596
法人税等還付税額	△144	—
法人税等調整額	△5,603	215
法人税等合計	△4,144	4,812
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△24,417	3,137
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△375	1,120
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△24,041	2,016



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△24,417	3,137
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△366	719
繰延ヘッジ損益	△231	△484
為替換算調整勘定	23,818	14,309
退職給付に係る調整額	△203	△238
持分法適用会社に対する持分相当額	9	42
その他の包括利益合計	23,025	14,348
四半期包括利益	△1,391	17,486
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,280	14,897
非支配株主に係る四半期包括利益	1,888	2,588

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

<紙・板紙事業>

該当事項はありません。

<ホーム&パーソナルケア事業>

2023年7月19日付で、エリエール・インターナショナル・ベトナムCO., LTD. を新設し、第2四半期連結会計期間末より新たに連結子会社としています。

2023年8月31日付で、H&PCブラジルS.A. は、サンテルS.A. に吸収合併され消滅しています。

2023年10月1日付で、ダイオーミルサポート東海株式会社は、エリエールペーパーテクノロジー東海株式会社に商号変更しています。

<その他事業>

2023年4月1日付で、ダイオーエクスプレス株式会社は、ダイオーロジスティクス株式会社に吸収合併され消滅しています。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	紙・板紙	ホーム& パーソナル ケア	計				
売上高							
外部顧客への売上高	248,369	211,240	459,610	21,245	480,855	—	480,855
セグメント間の 内部売上高又は振替高	13,584	1,940	15,525	60,120	75,645	△75,645	—
計	261,954	213,180	475,135	81,365	556,500	△75,645	480,855
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△10,680	△9,353	△20,033	2,076	△17,957	29	△17,927

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、木材事業、造林事業、機械事業、物流事業、売電事業、ゴルフ場事業及び不動産賃貸事業等を含んでいます。

2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、セグメント間取引消去に係る調整額です。

3. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

紙・板紙事業及びホーム&パーソナルケア事業において、減損損失が発生しました。なお、当該減損損失の計上額は、前第3四半期連結累計期間においては、紙・板紙事業で5百万円、ホーム&パーソナルケア事業で6,401百万円です。

(のれんの金額の重要な変動)

ホーム&パーソナルケア事業において、前第3四半期連結会計期間に行われた株式会社大貴との企業結合について、取得原価の配分が完了していなかったため、のれんは暫定的に算出された金額でした。取得原価の配分は前連結会計年度末に完了し、暫定的な会計処理が確定しています。この結果、のれん5,804百万円を計上しています。なお、当該確定に伴うのれんは修正はありません。

また、ホーム&パーソナルケア事業において、のれんの減損損失を計上しています。当該事象によるのれんの減少額は、前第3四半期連結累計期間において、5,482百万円です。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	紙・板紙	ホーム& パーソナル ケア	計				
売上高							
外部顧客への売上高	265,245	220,291	485,537	18,237	503,774	—	503,774
セグメント間の 内部売上高又は振替高	9,855	1,372	11,227	60,640	71,867	△71,867	—
計	275,100	221,663	496,764	78,877	575,642	△71,867	503,774
セグメント利益又は セグメント損失(△)	12,377	△3,338	9,039	2,012	11,051	41	11,092

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、木材事業、造林事業、機械事業、物流事業、売電事業、ゴルフ場事業及び不動産賃貸事業等を含んでいます。

2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、セグメント間取引消去に係る調整額です。

3. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より一部子会社の組織変更を実施し経営管理区分を変更したことに伴い、従来「紙・板紙」セグメントに含めていた事業の一部を「ホーム&パーソナルケア」セグメントに移管しています。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しています。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

紙・板紙事業及びホーム&パーソナルケア事業において、減損損失が発生しました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、紙・板紙事業で5百万円、ホーム&パーソナルケア事業で1,341百万円です。